

契約段階で融資可能

岡山市委託事業 中小企業を支援

から入
か導
月行
来試

岡山市は27日、市委託事業などを受注した企業が、契約段階で金融機関から融資を受けることが可能になるサービスを4月1日から試行導入すると発表した。インターネット上で債権をやりとりする「電子記録債権」を活用し、資

岡山市が導入する「POファイナンス」の仕組み



常、業務完了後に決済されるため、資金力の乏しい中小企業などはその間の運転資金の調達が課題

金繰りを支援する。地方自治体では初とい

委託事業などは通常、業務完了後に決済されるため、資金力の乏しい中小企業などはその間の運転資金の調達が課題

の1つとなっている。市が導入するのは「Tベンチャー・トラザックス（東京）が提供する「POファイナンス」と呼ばれる仕組み。契約段階で市に対する支払い債権を電子化し、それを担保に金融機関から融資を受けることができる。契約の不履行を防ぐため、債権には「事業の履行がなければ支払わない」といった抗弁を付けるという。対象は100万円以上の測量、地質調査業務や、中小企業の設備投資費を支援する市の補助事業。中国銀行、広島銀行、商工組合中央金庫が取り扱

記者会見で大森雅夫市長は「融資が早まることで経営の安定が期

待てざる。市の経済全体にとってもプラスになる」と述べた。

（洞井宏太）